

□ ■ バンコク都知事選挙 ■ □



こんにちは、島根・ビジネスサポート・オフィスの柴田です。

タイでは、5月22日に2013年以来実に約9年ぶりとなるバンコク都知事選挙が実施され、チャチャート・シティバン元運輸相が当選しました。候補者は過去最多の31人、事前の調査でも都政の変化が強く望まれていた今回の都知事選挙。この記事では、タイの行政体制および今回の都知事選挙についてご紹介いたします。

【タイの行政体制について】

タイには77都県あり、そのうち「チャンワット」という日本の県に相当する行政組織が76存在します。この県の下に郡や行政区、村といった区分が存在しています。各県の地方行政は内務省の管轄下であり、県や郡は国の出先機関という位置づけとされているため、自治体という組織ではなく、県であれば県知事が監督権を有しており、知事は内務省から派遣されています。

77都県の残る1都はバンコク都になりますが、バンコクはタイの首都であることから、上のチャンワットという県や、市という区分にあてはまらず、法により首都を管轄する特別な地位を与えられた特別地方自治体「バンコク都」として位置づけられています。そのため、タイの官公庁および日本の外務省の日本語資料上では「バンコク都」と表現され、その政庁も都庁という表現が利用されています。



上述の通り、他の76県の知事は内務省から官僚が派遣されるのに対し、バンコク都のみ、都知事が公選制なのはタイの77都県中バンコクだけです。そして、今回約9年ぶりに行われたのが、このバンコク都の知事を決める都知事選でした。

【9年ぶりのバンコク都知事選挙】



選挙期間中にバンコク市内に
設置された選挙看板

冒頭でもお伝えした通り、5月22日に投開票が行われた都知事選は、2013年以来、実に約9年ぶりの実施となり、投票率は60.7%で67万3696人が投票しました。都知事の任期は4年間ですが、前任の第16代都知事のアサウィン氏が就任したのは、6年前の2016年10月でした。2014年にクーデターがあり、軍事政権が2016年、当時の知事を解任し、副知事であったアサウィン氏を、選挙を経ずに任命したためです。これに加えて新型コロナウイルスの影響で、実に9年を空けての選挙となりました。

今回の選挙によってバンコク都知事に任命されたチュチャート氏は、クーデターで倒されたインラック政権の元で運輸相を務めていました。

2019年の民政復帰に向けた下院総選挙では、タクシン派の主要政党「タイ貢献党」から首相候補に指名されていました。今回の選挙では、タクシン派以外からも支持を得ようと、無所属で出馬していました。

前職のアサウィン氏や前副知事も今回の選挙に出馬していましたが、最終的に非公式の獲得票数ではあるものの、チュチャート氏が2位のアサウィン氏に100万票以上の大差をつける結果となりました。

地元メディアは、バンコク都民は現在の都政に対し何らかの変化を望んでおり、今回無所属として立候補したことが全ての年齢層からの支持につながったと報じています。加えて、同氏はアメリカの大学で土木工学の博士号を取得し、エンジニアとして活動していた経歴があり、その分野の専門的な経験に加えて、都政に関して明確なビジョンを持ち、ソーシャルネットワークなどのデジタル分野でも知見があったことなどが主な勝因だったのではないかと分析しています。

【チュチャート氏が掲げる公約】

5月22日に行われた都知事選の投開票の後、31日に選挙管理委員会によりチュチャート氏の当選が承認されました。そして、6月1日よりバンコク都知事に正式に就任しています。



チュチャート・シティパン氏 (56)

出典：Chainwit., via Wikimedia Commons



チュチャート氏は、知事として「3つの優先事項」を発表し、「バンコク首都庁(BMA)が掲げる213の主要政策や、方向性を訴求していく」「洪水問題に取り組み、道路の安全性を改善する」「舗装道路と屋台などの物販スペースを整備し、悪質な業者を排除する」の3点にまずは重点的に取り組むとの方針を打ち出しました。その中でも、洪水対策として既存のインフラに加えて100億バーツ（約371億円）の予算を割き、関連の機能を強化することを表明しています。

また、バンコク都市部で慢性的な問題となっている交通渋滞の解消ため、1年以内にバンコクの交通渋滞の効果的な解決策を見つけると公約しました。具体的には、バスの本

2022年5月

数を増やし運賃を下げる他、公共交通管理システムの導入に向け法整備と併せて進めていくとしています。

【最後に】

都知事選挙と同時期に行われた都議選では、国政与党陣営が大敗を喫すという波乱もありました。来年3月までに行われる見通しの議会下院総選挙を前にした大敗ということもあり、プラユット首相は「一つの地方選挙の結果にすぎない」と強気な姿勢を示す一方で、タクシン元首相は「民主主義の勝利だ」との声明を発表するなど政界に波紋を広げています。

今回のチャチャート氏の都知事選の圧勝により、バンコク都民の変化を望む姿勢が浮き彫りになりました。チャチャート氏の当選を「新たな時代の幕開け」と報じる地元紙もあり、バンコクひいてはタイの政治の変化を後押しすることにつながるのではないかと目されています。任期4年間のチャチャート氏の知事としての手腕を今後も注視していきたいです。

□ ■ THAIFEX 2022 はコロナ前のような活況！ ■ □

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスの神谷です。

今回は5月28日に訪問した THAIFEX 2022 についてレポートします。



2022年5月24日(火)-28日(土)の5日間に渡り、バンコクの北側にあるムアントンタニー県の展示会場「IMPACT」で開催されました。THAIFEXは国内最大級の総合食品見本市で、タイ国内外からも多数来場します。コロナ禍が始まった2020年は5月開催を9月に延期しましたが、参加企業数は189社、2021年はコロナの影響を鑑みてオンラインのみの開催となりました。なので、リアルの展示会は約2年ぶりの開催です。

主催者側の発表では、今年度の参加企業は1603社（海外881社、タイ国内722社）、開催期間5日間の来場者は111か国から51,535人、特に海外からの来場者はマレーシア、ベトナム、シンガポール、韓国、インドが上位5か国とのことでした。コロナ前の2019年のTHAIFEXは参加企業2500社、来場者数は過去最高の62,000人で、それには及びませんでしたが、実際に会場を訪れてみるとコロナ前の活況が戻ってきたことを強く感じる事ができました。



試食に集まるヤマサ醤油のブース



Japan パビリオンではシークワーサー試飲中

2022年5月



日本からは Japan パビリオンとして JETRO が用意したブースに 17 社が出展していました。内容は和牛・海産物・水産加工品・お茶・大豆ミート・ラーメン・豆乳・果汁・サプリメントなど多岐にわたります。

開催期間 5 日間のうち、最終日はバイヤーだけでなく一般消費者も入場可能なため、コロナは終了したのか？と間違えそうなほど、会場は多くの来場者でごった返していました。私が訪問した時には、シークワサーの試飲コーナーに多くのタイ人の方々が集まっていました。このブースに限らず、試飲・試食コーナーは大人気で、食品展示には試飲・試食、そして食品の食べ方、調理方法の提案が欠かせないことを実感しました。

既にタイに浸透している日本食ですが、コロナはどんな影響を与えたのでしょうか？コロナ禍のタイにおいて、日本食店の撤退もありましたが、実際には新規出店もあり、店の数自体は減少していません。JETRO のタイ国日本食レストラン調査 2020 によると、コロナ禍の 2020 年、タイ国内の日本食店の数は 4,094 店舗と前年から 12.6%増加しています。地域別に見ると、前年比で、バンコクは 2,105 店舗と 5.6%の増加、地方は 1,989 店舗と 21%増加しています。

この 2 年間、観光客が入ってこなかったり、接待需要が激減して高価格帯の日本食店は特に苦戦していましたが、ターゲットをタイ人に絞り、「OMAKASE」コースを採用して、食材の在庫管理を工夫したり、SNS をうまく活用しながら新規マーケットを開拓し、乗り切ったお店も多くあります。この 2 年の間に「OMAKASE」という日本語がタイの方々の中ですっかり定着した感じがします。



日本人経営の高価格帯の店のみならず、2022 年に入ってローカルエリアのタイ人経営のすし店で OMAKASE メニュー登場

2022年5月

バンコク中心部では好立地に空き店舗が出ることもあり、そこに新規の居酒屋や日本食店がオープンするというケースも多く目にします。また最近のタイの健康志向のためか、関西風の薄味の出汁のうどん店がタイ人の若者で満席になり、座れないということもありました。このコロナ禍はタイに食の本物志向を運んできたのかもしれない。



ラーメン 1 杯 350THB (約 1580 円) でも午後 2 時、タイ人の若者は行列



写真奥はタイで人気の居酒屋剣心。手前の空き店舗に日系居酒屋オープン。



人気の和食店「てっぺん」はタイ入国規制緩和とともに一軒家の新業態オープン

THAIFEX の JAPAN パビリオンの募集は例年 12 月か 1 月ごろ行われているようです。また単独出展も可能です。

2023 年は 5 月 23 日-27 日に開催を予定していますので、ご関心のある方は下の THAIFEX の HP をご確認ください。

<https://thaifex-anuga.com/en/>

□ ■タイ旅行の大定番！“タイ式マッサージ” ■ □

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、アイです。

パソコンやスマートフォンの普及に伴い、日常生活を送る中で画面と向き合う時間が増えています。また、オフィスワークでは長時間にわたり同じ姿勢で仕事を続ける必要があるため、肩や首、腰などに大きなストレスを与えています。

体の不調を治療するには、医師に相談する他に、肩こりや腰痛などの身体的な症状をお持ちの方の中には、定期的にマッサージに通っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は、タイ人に限らず世界的にも人気の高い、タイ旅行の大定番、タイ式マッサージについてご紹介いたします。



2022年5月

米カード会社大手 Visa が5月上旬に発表した、旅行に関する調査「グローバル・トラベル・インテンションズ・スタディ」の最新版によると、世界で最も訪れたい観光地として、タイが第4位にランクインしました。この調査は、ネット検索で多いキーワードを元に、魅力的な観光地をランク付けしているもので、上位3カ国は上からアメリカ、イギリス、インド。タイ国内の都市を見ると、バンコク、プーケット、チェンマイ、そしてホアヒンという順で検索された数が多かったそうです。

また上記の調査によると、旅行者に人気のアクティビティとして、タイ料理を食べることや、リゾート地でのリラックスや寺院巡りと並び、タイマッサージが挙げられています。

【“タイ式マッサージ”とは】



タイ式マッサージは古式マッサージとも呼ばれ、その名の通り、古くからの歴史を持つ、タイ伝統医療法の1つとされています。皮膚に直接触れて、体の末梢から中心に向かって揉む、押さえるなどの刺激を加えることで、静脈やリンパの流れを促進する効果があるとされています。身体的な効果に加えて、質の高いマッサージによる、精神的な効果についても高く評価されています。

タイ式マッサージは、身体がリラックスし、疲労回復できるという期待から、多くの人々に人気があります。

タイには数多くのマッサージ店があり、お店によっては1,500円程度で1時間のマッサージを受けることができます。タイで受けられるマッサージには多くの種類がありますので、下でいくつか簡単にご紹介させていただきます。

【タイで受けられるマッサージの種類】

マッサージ

一般にマッサージと聞いて思い浮かぶタイプのマッサージで、肩や首元、頭部のマッサージによって、肩こりや身体のハリの解消や腰痛改善などの効果が期待できます。

美容マッサージ

タイハーブのボディスクラブによるお肌のケアをはじめ、フェイシャルマッサージによるお顔のトリートメントにより、むくみの改善や血行の促進が期待できます。

オイルマッサージ

アロマオイルの香りとマッサージの相乗効果により、不眠症やストレス、うつや緩和など、不調の解消が期待できます。マッサージオイルには肌のハリ・ツヤや、皮下脂肪燃焼の効果も期待できます。温いオイルでマッサージすることによって、身体にオイルが浸透して、リラックス効果が期待できます。

フットマッサージ

足は「第2の心臓」と呼ばれるほど、足に集まっている毛細血管は血液を送るポンプのような働きがあり、各器官と神経で繋がっています。マッサージで足裏に刺激を与えることによって、静脈やリンパの流れが改善できます。更に、身体全体のバランスも改善されて、全身の健康維持につながると言われています。



【最後に】

2019年にはユネスコの無形文化遺産に登録されたタイ式マッサージは、タイの文化に深く根付いており、日常生活の一部となっています。タイ旅行で疲れた時には、タイ式マッサージでひと休みしてみたいはいかがでしょうか。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください。

担当 ; 神谷 靖子 Yasuko Kamiya
Address : 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd., Klongtoey Nua, Wattana, Bangkok 10110
Tel : +66-(0)-2-261-1058
Mobile : +66-(0)-89-200-7763
Mail : shimane-bizsup@aaph.com

➤ タイ経済指標

項目	単位	2019	2020	2021	2022
GDP 成長率	前年比 (%)	2.4	-6.2	1.8	2.2 (1~3月)
人口*	千人	68,021	68,152	68,161 (1月)	68,161 (21年1月)
労働者の数*	千人	38,207	39,451	38,631	38,631 (21年)
失業率**	%	0.99	1.62	1.94	1.94 (21年)
最低賃金*	バンコク	325	331	331	331
	チョンブリー	330	336	336	336
	アユタヤー	320	325	325	325
	ラヨン	330	335	335	335
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,131	13,562	13,506	13,506 (21年)
インフレ率**	前年比 (%)	0.71	-0.84	1.24	4.72 (4月)
中央銀行政策金利*	%	1.25	0.50	0.50	0.50 (6月)
普通貯金率**	%	0.47	0.31	0.25	0.25 (5月)
ローン金利(MLR) **	%	6.29	5.60	5.42	5.42(5月)
SET 指数*	1975年：100	1,579.84	1,449.35	1,657.62	1,663.41 (5月)
バーツ/100円**	バーツ	28.48	29.33	29.15	27.79 (5月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.05	31.29	31.98	33.48 (5月)
円/米ドル**	円	109	106.8	109.8	120.67 (5月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	1,019,602	779,857	736,716	305,349 (4月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,500	1,501	1,572	327 (22年3月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	447.36	361.41	511.9	88.72 (21年3月)

*期末、**平均